

マスバランス方式によるバイオマスプラスチックフィルムの製造に着手します

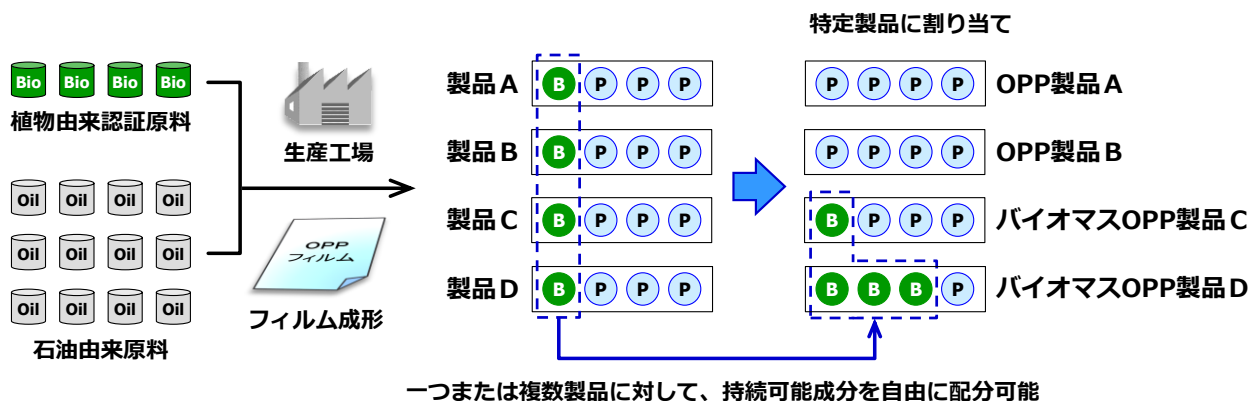
フタムラ化学株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役社長：長江泰雄）は、植物油廃棄物などの再生可能資源を用いたマスバランス（物質収支）方式によるバイオマスプラスチックを使用した食品包装フィルムを展開するため、バイオマスの認証制度として欧州で広く採用されている ISCC（国際持続可能性カーボン）認証取得に向けて準備を進めています。今夏にも正式な認証取得を見込んでいますが、既に第三者認証機関による監査は完了しました。まずは、バイオマスポリプロピレンを投入し当社の名古屋工場において食品包装フィルム業界では国内初となるバイオマス OPP フィルムの製造を開始します。

バイオマスポリプロピレンは、起源として植物油廃棄物などの非可食油からバイオナフサもしくはバイオオPROPANを精製し、既存のプラント等へ石油由来原料と混合することで生産されます。植物由来原料の割合は、国際的に適用されているマスバランス方式に基づいて、バイオマスポリプロピレンの最終製品として任意の濃度で割り当てることができます。また、このマスバランス方式はサプライチェーンに関わる全ての企業が第三者機関による ISCC 認証を受ける事で、トレーサビリティが担保される仕組みとなっています。ISCC 認証取得に合わせて、このバイオマスプラスチックを製品の原材料として購入する当社は、石油由来ポリプロピレンと構造・性能とも同じであるこの原材料を使用することで、従来製品と比較して品質を落とすことなく安定的にフィルム製品を製造・供給することが可能となります。

なお、ISCC の認証には循環経済によるリサイクルプラスチックも範囲としており、今後、廃棄プラスチックからのリサイクル樹脂の使用も可能です。

食品包装業界では近年、消費者や消費財メーカー各社から、より持続可能な社会に貢献する包装材が求められており、今回バイオマスプラスチックを使用したフィルム製品を展開することにより、当社は 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて化石資源使用量削減やバイオマス資源の利用促進に貢献していきます。

マスバランスの考え方



（令和4年6月1日追記）

フタムラ化学株式会社 名古屋工場は ISCC の最新の規定に則り、ISCC PLUS 要求事項に準拠することを約束し、宣言します。

お問合せ先：フタムラ化学株式会社 プラスチック生産企画部 PF 開発統括 中島 TEL 052-444-9837